「指定ごみ袋制度導入についての基本方針（案）」についての意見募集結果

○ 意見提出者数 市民3人

○ 意見項目数 10件

意見番号	項目番号	ご意見の内容 (概要)	該当する ページ	該当箇所	意見に対する 羽生市の考え方	対応について
1	1	「指定ごみ袋制度」は、その趣旨を明確に示してください。 「ごみの削減」、「不法ごみをなくす」等はつきりさせることが大切だと思います。	10 11 12	(5) 指定ごみ袋制度の導入による効果 Q2 なぜ指定ごみ袋制度を導入するのですか？	本制度の導入につきましては、「ごみの減量化・資源化の推進」、「ごみの分別や適正排出の推進」、「不適切なごみ排出の防止」、「ごみ収集作業の効率化と安全確保」、「二酸化炭素の排出量の削減」の5つの効果を得ることを趣旨としております。 基本方針（案）P. 10の「(5) 指定ごみ袋制度の導入による効果」の項目やP. 12の「5 指定ごみ袋制度導入に関するQ&A」の中で記載しておりますが、今回のご意見を受け、記載箇所をより明確に趣旨として示す必要があると判断し、右記のとおり変更させていただきます。	P. 10「(5) 指定ごみ袋制度の導入による効果」の項目名を、「(5) 指定ごみ袋制度の目的及び導入による効果」に変更いたします。
1	2	ごみの有料化に繋がりがねないので、慎重にお願いします。 市民は金銭的な負担に敏感だと思います。	7 12 13	(1) 指定ごみ袋制度の概要 Q3 指定ごみ袋制度とは、ごみ処理の有料化ではないのですか？	今回の基本方針（案）では、市が指定するごみ袋を用いるものの、ごみ袋代にごみ処理手数料を上乗せしない「単純指定ごみ袋」を導入する方針としており、ごみ処理手数料を上乗せする「ごみの有料化」ではございません。	基本方針（案）のとおりとします。

意見番号	項目番号	ご意見の内容 (概要)	該当する ページ	該当箇所	意見に対する 羽生市の考え方	対応について
1	3	「指定袋」と「市販袋」は、どちらも使えるように出来ればよいと思います。	13	Q8 これまで使っていたごみ袋はどうすればよいですか？	指定ごみ袋は、「燃やしてもよいごみ」のみ対象となります。 なお、市販の袋については、45リットル以下の透明又は半透明であれば、引き続き「燃やしてはいけないごみ」を出す際にお使いいただくことが可能です。	基本方針（案）のとおりとします。
2	4	指定ごみ袋制度の導入よりも先にゴミ処理場建設の住民説明会を行うべきです。 新施設の施設内容等が市民に具体的に説明していない状況では、賛否が決められないです。	なし		本制度の導入につきましては、「ごみの減量化・資源化の推進」、「ごみの分別や適正排出の推進」、「不適切なごみ排出の防止」、「ごみ収集作業の効率化と安全確保」、「二酸化炭素の排出量の削減」の5つの効果を得ることを趣旨としているため、今後に予定される行田市との共同ごみ処理における運営費の費用負担も考慮しているものの、指定ごみ袋制度の導入は、新ごみ処理施設の建設とは、直接の関係はございません。 なお、新ごみ処理施設建設に伴うごみの種類や分別方法の変更について、令和7年7月頃から各地区での市民説明会や事業者や関係団体への説明会開催に加え、市広報やホームページなどへ掲載するなど様々な媒体を活用して広く周知、啓発を行う予定です。	基本方針（案）のとおりとします。

意見番号	項目番号	ご意見の内容 (概要)	該 当 す る ペー ジ	該当箇所	意見に対する 羽生市の考え方	対応について
2	5	現在と新しいごみ処理施設が完成した後でごみの出し方が違ってしまふことになりかねないので、行田市と同一歩調で行うことが良いと思います。	なし		現在は、行田市とごみの出し方が違ってありますが、令和10年4月からの共同ごみ処理開始からは、ごみ袋の種類も含めて同一とできるよう、行田市と協議を行っている状況です。	基本方針(案)のとおりとします。
2	6	有料ごみ袋にするなら、ごみ袋を1年分無償で配布するなどして、家庭の負担を減らす方策をしてほしい。	7 12 13	(1) 指定ごみ袋制度の概要 Q3 指定ごみ袋制度とは、ごみ処理の有料化ではないのですか？	今回の基本方針(案)では、市が指定するごみ袋を用いるものの、ごみ袋代にごみ処理手数料を上乗せしない「単純指定ごみ袋」を導入する方針としており、ごみ処理手数料を上乗せする「ごみの有料化」ではございません。	基本方針(案)のとおりとします。
3	7	現在は、ごみの出し方が行田市と違うと思いますが、ごみの出し方が違うと、市民は戸惑ってしまうため、行田市と協議した上で、同一歩調で行うことが良いと思います。 ごみの出し方が異なると、新ごみ処理施設を傷めてしまうことになると思います。	なし		現在は、行田市とごみの出し方が違ってありますが、令和10年4月からの共同ごみ処理開始からは、ごみ袋の種類も含めて同一とできるよう、行田市と協議を行っている状況です。	基本方針(案)のとおりとします。

意見番号	項目番号	ご意見の内容 (概要)	該 当 す る ペー ジ	該当箇所	意見に対する 羽生市の考え方	対応について
3	8	指定ごみ袋を導入することで、ごみの減量化につながるとありますが、ごみの減量化はごみ袋の問題だけではないと思います。 ごみを出す頻度を減らすだけになり、ごみの減量化にはつながらないと思います。	10 14	①ごみの減量化・資源化の推進 Q10 指定ごみ袋制度を導入するだけでは、ごみの減量化にならないのではないのか？	ごみ袋代にごみ処理手数料を上乗せしない「単純指定ごみ袋」を導入した場合でも、販売価格が市販されるごみ袋よりも若干割高になることが想定されます。 そのため、指定ごみ袋制度の導入を契機に、まずは「ごみとなるもの」をできるだけ出さない発生抑制を市民の皆様を意識していただき、ごみの減量化や資源化への意識の醸成を図りたいと考えております。	基本方針（案）のとおりとします。
3	9	資源ごみが2週間に1回を週1回出せるようになると、ごみ減量化に対する市民の協力も増えてくると思います。	なし		本基本方針（案）は、資源ごみの収集回数とは、直接関係ございません。 なお、ごみの収集回数については、ごみ袋の種類も含めて同一とできるよう、行田市と協議を行っている状況です。	基本方針（案）のとおりとします。
3	10	総合的に考えて、この案は性急すぎると思います。	5 6	(4) 目標指標（1人1日あたりのごみ排出量） (5) ごみ処理経費の推移	市民1人1日あたりのごみ排出量が全国平均などと比較して大きく上回っている状況やごみ処理経費が増加傾向であることを考慮すると、将来的な市の財政負担を必要以上に増加させず、安定したごみ処理運営を行うためには、積極的に新たな施策を取り組み、ごみの減量化を進めることが重要と考えております。	基本方針（案）のとおりとします。